

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,626	t-CO ₂
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,626

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	2,879	t-CO ₂	2,864	t-CO ₂	2,852	t-CO ₂	2,636	t-CO ₂	2,626	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			0.5	%	0.9	%	8.4	%	8.8	%
温室効果ガスみなし総排出量								t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）								%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）								%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和3年度から令和4年度にかけての輸送環境に比べ、令和5年度以降は突発的な輸送が減少し、輸送距離が通常に戻ったことから、軽油使用量＝温室効果ガス総排出量の削減目標が達成できた。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
自動車輸送機関に関する対策	エコドライブの徹底	デジタルタコグラフでの急加減速等評価（点数）の集計により、全乗務員が100点の運転をできるように指導する	各乗務員において運転状況結果の傾向は変わらないものの、講習等で助言することにより改善があった。
	最新規制適合車の導入	計画的な車両更新のため、3年間で合計12台以上の購入を計画	車両納期の遅延により、3年間で合計8台の導入にとどまったが、そのうち4台は、令和6年度より車両出荷が正常化したことから、計画通り導入した。次期3年間においては20台程度の導入を予定している。
	配車の適正化	新しい配車支援型デジタルタコグラフの導入により、さらに効率化を図ることで結果的に燃料の使用量が減るようにする	実施できた。
省エネルギー、省資源の行動実践	冷房温度、暖房温度を適正にし、クールビズやウォームビズを心がける	こまめなエアコンON-OFF	実施できた。
	使用していない部屋・昼休み・時間外に、不必要な照明の消灯を徹底する	こまめな電源ON-OFF	実施できた。
	パソコンを長時間使用しないときは、電源を切る	こまめな電源ON-OFF	実施できた。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

グリーン経営認証の更新定期審査適合 (10期18年目)

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

特になし
